

# 与助谷山～桜谷山 (2019. 10. 28)



## コース

木地山登山口 (9:01) — 与助谷山 (10:21) — 桜谷山 (11:21～11:58) — 北谷 (13:10) — 木地山登山口 (14:05)

距離 7.6 km 歩行時間 4 : 13 総時間 5 : 04 参加者 3名

与助谷山は私には懐かしい山です。2011 年秋、読図山行に参加した時、ブナの種を拾い、庭の隅に蒔いたところ、今では 1m20cm ぐらいに育ちました。我が家のブナの親がいる所なのです。

木地山集落に車を止め、与助谷の西に位置する緩やかな尾根から登りましたが、息が切れ、ハアハア言いながらの登りです。P 649m くらいになって、ようやく落ち着きましたが、本当に年を感じます。(大丈夫かいな) 与助谷山に着いた時、ブナの種を探したのですが、見つけることができませんでした。なんでも、新聞情報によると今年はブナの種が不作らしいです。残念！

この稜線は福井と滋賀の県境にあり、駒ヶ岳から百里ヶ岳の間に位置する高島トレイルの一部で、与助谷山から 50m 下り、50m 登り返すと、桜谷山までは穏やかで、秋晴れの散策を楽しみました。若狭湾や敦賀も見えます。また、P 765 では二重稜線があり、リーダーによると読図に絶好の地形だそうです。今回は地形と地図を一致させることができ、セーフ。桜谷山からは青葉山、比良、伊吹、霊仙などの山々が望めた絶好の展望。

下山は、来た道を少し引き返し、P 760 から南下している尾根を下りました。私にも優しい尾根で、ルンルンで降りていきましたが、あと 50m というところで岩の崖が立ち上がり、下れそうところを探し、やっとの思いで北谷に下りました。地図によると北谷に沿って、実線の登山道がついているので、らくちんで歩くことができるとしたら、大間違い。数か所渡渉し、左岸から右岸の山裾についているトレイル抜け道になっても、気をぬくことができません。斜面に幅 20cm 程の道がへばりついているだけなので、雨の時は要注意。この道は破線で書いてほしい所です。

車が通れそうな道に出たので、気が緩み、地図も読まないで、おしゃべりに夢中になっていると、遠くで大き

な音？声がするので、「カラスが大きな声で鳴いているわ」とのんきなことを言っていたら、それは、リーダーの「どこ行ってるんや。馬鹿もん」と叫んでいる声でした。分岐で左岸の道を行かなければならないのに、ずっと右岸沿いの道を歩いていていたのです。そのまま進んで行くとシチクレ峠へ。ほんとに、危ない。また、やってしまいました。山は最後まで、しっかりと地図を読まないと、大変なことになります。



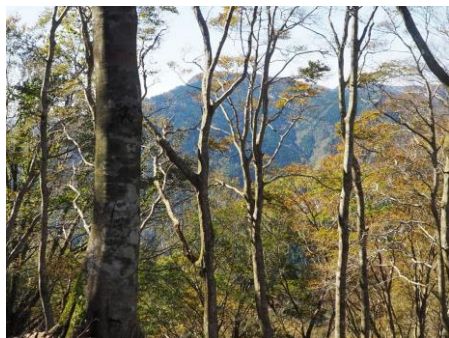
与助谷山



与助谷山



どっこい生きている



若狭湾がみえます



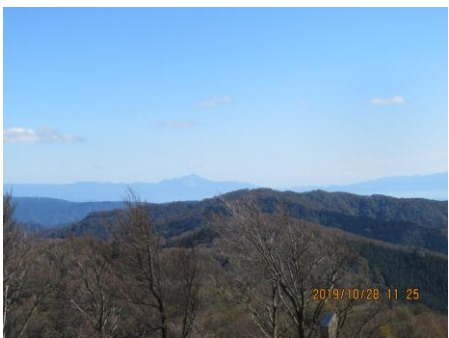
P765m



桜谷山



桜谷山から遠くに霊仙山



桜谷山から遠くに伊吹山



桜谷山山頂



桜谷山山頂



穏やかなブナ林を下る



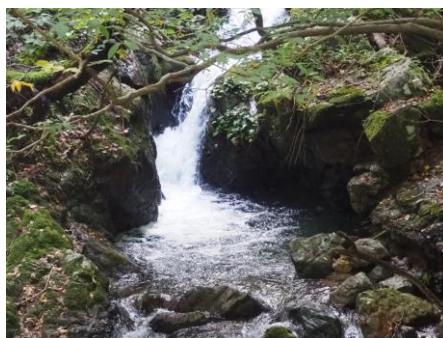
ブナの大木



尾根を下った所にエビネランが



北谷に下り立つ



実線の良い道だと思ったらとんでもない



数回渡渉して暫く左岸に行く



滑らないように慎重に



この橋で右岸にわたる



風格のある老木

記・Sasaki

写真 Minabe・Sasaki